

施策評価シート(令和2年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (2) 地域に根ざした商工業の活性化

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

基本施策が目指す姿

市内事業者が、地域に根ざし活発な経営を行っています。

関連する分野別計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	都市拠点における空き店舗活用件数	件	-	H27	0	3	5	6		5
2	カメヤマ創業アシストのサポートを受けた創業件数	件	-	H27	5	8	9	11		30
3										
4										
5										

市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察	
1	日常の買い物がしやすい	重要度	1.37	1.31	1.39	日常の買い物しやすさについては、特に重要度が高く、スーパー、ドラッグストア等商業施設の充実により、満足度が上昇したものと考えられる。 外食等の場所の充実については、重要度が特に下降しており、コロナ禍による外食や宴会等の減少が影響していると考えられる。
		満足度	0.02	0.13	0.22	
2	外食や宴会等を行う場所が充実している	重要度	0.72	0.74	0.58	
		満足度	1.04	1.07	1.01	
3		重要度				
		満足度				
4		重要度				
		満足度				
5		重要度				
		満足度				

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	空き店舗等活用支援や亀山ブランド創出など「にぎわいのある商業地域の形成」は、順調に進んでおり、個別判定をAとしている。新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた市内事業者に対する支援など「市内事業者の経営力の向上」並びに創業支援など「新たなビジネスの創出」は、まずまず進めることができ、個別判定をBとしている。基本施策に設定する成果指標においても実績は出ており、市民アンケート調査における日常の買い物について満足度は上昇している。これらのことから、基本施策が目指す姿にまずまず近づけることができていると考え、総合評価をBとした。

反省点・課題

新型コロナウイルス感染症による経済対策については、さらに今後の感染状況やアフターコロナを見据えた施策を進める必要がある。また、若者や女性が創業する事例も増えてきているが、にぎわいのある商業地域の形成に向けた創業支援、市内事業者の新たな事業展開や安定した経営を支援するための資金繰り支援を継続して実施していく必要がある。さらに、地域資源を活用した地域に根ざす産業の創出に向けて、農商工が連携して発掘から販路拡大まで一連の支援を行うため、地域ブランドとして戦略的に展開する必要がある。

今後の展開方針

新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き、今後の感染状況やアフターコロナを見据えた施策を的確に実施していく。また、引き続き空き店舗活用支援を行いながら、後継者となる創業者に対して積極的な支援を行うとともに、若い世代が移住したくなるような商店街と大規模店舗とが共存共栄する魅力のある商業地域の形成を進めていく。さらに、県や商工会議所等の関係機関と連携し、経営のアドバイスや資金繰り支援、市内商業団体への助成事業を引き続き行うとともに、チャレンジショップ事業の検討を行う。また、特産品の販路拡大や特産品の発掘から販路確保までを一貫して支援する「亀山ブランド創出事業」において、令和3年度にブランド認定を行い、戦略的に展開していく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向 にごわいのある商業地域の形成						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	空き店舗等活用支援事業では、1事業者を支援したが、新型コロナウイルス感染症の影響により創業に慎重になる傾向にあったため、2次募集を行うなど積極的なPRを行った。亀山ブランドでは、次年度の国体でのPR販売に向け、亀山市地域ブランド推進協議会を発足し、体制づくりを行った。	評価	新型コロナウイルス感染症の影響により先行き不透明な経済状況から、空き店舗等活用支援事業について、2次募集も行ったが、実施は1件だけであった。また、亀山ブランドでは、関係者と課題を共有し、令和3年度からの地域ブランド制度の本格実施に向けて協議を進めることができ、施策はますます推進できている。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業	主	3,600 / 2,740	A	A
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 多様な主体による一体的な取り組みの促進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
C	活動	補助金による継続的な団体支援のほか、「亀山まちゼミ」や「亀山大市」(亀山商業団体連合会主催)の開催に向けて関係団体との協議を行った。また、「カメジオブキッズ 2020」の開催についての内容等や新型コロナウイルス感染症の影響による感染拡大防止の対応、開催の有無について、主催・主幹となる亀山商工会議所、亀山商工会議所青年部と検討を行った。	評価	亀山商工会議所や亀山市商業団体連合会、亀山市東町商店街振興組合などの活動を一部補助することで、市民の豊かな消費生活の確保を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に鑑みイベントが中止となったことにより、施策をあまり進めることができなかった。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	18002	地域企業魅力発信・子どもの職業体験支援事業	主	0 / 0	D	D
	7007	団体支援事業(商工業振興事業)	標	11,155 / 10,640	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 市内事業者の経営力の向上						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	亀山市緊急政策パッケージの経済対策として、「亀山エール飯チャレンジ事業」「新型コロナウイルス感染症対策経営向上サポート事業」「亀山版持続化給付金支給事業」「プレミアム付商品券事業」「事業継続緊急支援事業」を亀山商工会議所と連携し実施した。	評価	市内の感染状況に応じた経済対策を的確に実施することで、事業者支援による経営力の維持、向上に繋げることができた。また、「プレミアム付商品券事業」では、事業者支援だけでなく、市民への消費喚起を促すことで、市内経済活性化に寄与することができた。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業	主	3,600 / 2,740	A	A
	20006	亀山エール飯チャレンジ事業	主	25,682 / 25,681	A	A
	20007	亀山版持続化給付金支給事業	主	105,000 / 20,630	B	C
	20008	亀山市プレミアム付商品券事業	主	119,045 / 117,128	A	A
	20010	亀山市事業継続緊急支援事業	主	64,000 / 58,226	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 新たなビジネスの創出						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	市内での創業予定者や創業後間もない事業者を対象に、専門家を講師とした創業セミナーや個別相談会を開催するとともに、資金繰り支援についても周知を図った。また、農商工連携により、新たな特産品の発掘から販路確保までの事業を展開するため、亀山市地域ブランド推進協議会を中心に協議を行った。	評価	コロナ禍であったが、創業セミナーには13人が受講し、新たに受講者2人が創業した。また、創業資金利子補給制度や創業・再挑戦融資制度保証料補給制度の資金繰り支援により、創業者の負担軽減と経営の安定を図ることができた。さらに、農商工が連携して令和3年度からの地域ブランド制度の本格実施に向けて取り組むことができた。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業	主	3,600 / 2,740	A	A
	7006	一般事業(商工業振興事業)	標	60,798 / 57,456	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果